

## 高齢者問題って他人事？

「高齢者の人権」というと、介護での虐待などを思い浮かべ、自分や我が家には関係ないことだと考える方も多いようです。

高齢者の人権を守ることにについて考えてみましょう。

### 地域で安心して暮らすことを

高齢者がさまざまな詐欺にあい、苦しい思いをされるのを見聞きし、心を痛めることが多くなりました。

さらに、今冬、多くの高齢者が雪かきや雪下ろしを余儀なくされました。一人暮らしの方たちが「生活が不安。」「雪下ろしを頼む人がいない。」「1日1回でもいい。役場からの電話が欲しい。」と生活の不便を話しておられました。

大山町でも、他の市町村と同様に高齢者が増えてきています。若い人たちと同じように、高齢者が自分の生活を営みながら、住み易く安心して暮らせる生活を確保することが「高齢者の人権」を守るものの一つではないかと考えます。

### 希望をもって暮らすことを

国連は、『高齢者のための人権原則』（1991年12月）で、高齢者は評価され、勇気を与えられる存在だとしています。人権と福祉は本質において、よく似ています。高齢者は今の世の中を作っていく上でたいへんお世話になったから、お返しするのが当たり前という考えで、高齢者の福祉を充実させている国もあります。

本年度の全国中学生人権作文コンテスト受賞作品「何回でも聞いてね」は、認知症となった自分のおばあさんとのやりとりを書いています。分かっていても、ついつい厳しい言葉をなげつけてしまう中学生が自分を見つめ直し「何回同じことを聞いてもいいからね。」と言えるまでの内容です。

人権は個人の尊厳を大切にすることです。一人暮らしをする高齢者をはじめすべての高齢者に、町も人も「あなたをいつも思っていますよ。」「大事に思っていますよ。」というメッセージを届けたいものです。



中山小学校の子どもたちと交流する高齢者のみなさん

### できることは

人の世話にならず自分で暮らすことももちろん自立という面で必要なのですが、積極的に社会保障の仕組みを活用することによって、人間らしい生活を獲得して、幸せな生活をおくるようにすることも大切です。

高齢者問題は、他人事ではありません。身近な高齢者に、声をかけ、話相手になり、高齢者と共に生活することの重みをみんなで心に留め、地域で支え合って高齢者の人権を守りたいものです。